

たけだちくみずとかんきょうをまもるかい

竹田地区水と環境を守る会（山形村）

・組織の活動面積 A= 84.39 ha	組織形態	農地維持 ■	資源向上(共同) □	資源向上(長寿命化) ■
・組織の構成員数 約 250 人	取組開始年度	平成26年～	—	平成26年～

構成員	黒川堰土地改良区地権者
-----	-------------

組織の概要

竹田地区水と環境を守る会は、松本平の西側に位置する山形村で平成26年から活動を開始しています。活動の対象地域は、山形村の北東に位置する、上竹田区、下竹田区にまたがる、黒川堰の受益地おおよそ84haの圃場で、構成員はおおよそ250名です。

活動の内容は、農地維持活動と長寿命化の活動に取り組んでおります。農地維持活動では、共同活動による、用排水路の泥上げ、草刈り、除草作業等を実施し、長寿命化活動では、圃場整備から30数年が経過し、老朽化が進んでいるため、水止め板の交換や水路の不具合箇所の補修等を実施しています。

この地域は、かつては水が乏しく、稲作には不向きでした。開田は地域住民の長年の夢であり、先人たちの、私財を投げ打つなど努力の結果、15年の歳月を経て、黒川堰は明治26年、通水に成功しました。それは、今からさかのぼること120余年前のことでした。その後、昭和59年には圃場整備も完了して、機械化による稲作に対応できる環境が整備され、現在に至っていますが、高齢化の進行など農業環境の変化が懸念されます。本会では、先人たちの知恵と努力で築いた、水資源と農業環境を末永く後世に残し、着実に次世代に引き継いで行くため努力をしています。

先人の苦難の農地を次世代へ



総会

年度末に構成員の全員参加（委任状可）により開催します。



黒川の水源近く

こんな景観の所も流れています。



せんげざらい

稲作が始まる前に6個所に分かれて全員参加のせんげざらい（用排水路の泥上げ）を行います。



黒川幹線の整備

役員による作業です。



水止め板改修

自分で改修できない作業は業者に委託します。



会報の発行

年1回会報を発行し情報の共有。活動の啓蒙を図っています。